

市区町村名	静岡県小山町	担当部署	まちづくり専門監
		電話番号	( 0550) 76-6132

## 1 取組事例名

設計施工プロポーザルによる工事発注

## 2 取組期間

・平成 26 年度から、4 事業で実施

## 3 取組概要

・役場庁舎前の県道の拡幅の伴い、役場庁舎車寄せ部を除去し、新たにキャノピーを設けた。  
 ・県の補償金の範囲内で役場エントランス部の設計施工プロポーザルを実施。この時に行政アドバイザーに登録の建築家にイメージスケッチを書いていただき、それを参考にすることを条件とした。このことにより町の意向を設計に反映させるようにした。

## 4 背景・目的

・役場庁舎前の県道拡幅に伴い、道路用地上にある役場の車寄せ部を撤去し、減少した敷地の中で車寄せ機能を設ける必要があった。  
 ・当初、既存車寄せを撤去し県道用地を確保し、その後に車寄せを新設する予定であったが、工期及び事業を圧縮するために、撤去から新設まで一貫した工事とし、さらに設計を含めることでさらにその効果が上がった。

## 5 取組の具体的内容



【実施前】



【実施後】

## 6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

- ・従来は設計、施工と別々に発注していたものを、同一業者が一体で実施するプロポーザル方式で発注。
- ・設計施工プロポーザルに参考デザイン画を示すことで、技術提案書が町の意向に沿うものが提出されることに繋がった。

## 7 取組の効果・費用

- ・設計、既存車寄せ撤去、新車寄せ建設まで一貫した事業にしたことで、工期が短縮された。
  - ・設計施工一環にすることで、別に設計事務所に設計を委託し、工事請負業者を入札により決定し工事発注するのに比べ、設計費相当額の節約になった。
  - ・行政アドバイザー制度を活用することで基本設計費の大幅節約につながった。
- ※設計費 200 万円程度が、行政アドバイザー経費 5 万円で済むことができた。
- ※工期も設計+入札手続き 3 ヶ月程度かかるものが、プロポーザル実施期間 1 ヶ月で済むことができた。
- ・入札時に不調になる恐れがない。

## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦勞した点）

- ・設計施工プロポーザルの経験がないため、要求性を明記する募集要項を作成することに苦勞した。
- ・設計と施工を分けて行うことが一般的には多い。設計時に内容・仕様を固めることが多く、設計・施工で発注する時期までに要求基準や事業費をまとめることは容易ではないこともあり、事例は多くない。

## 9 今後の予定・構想

- ・この設計施工プロポーザルの経験をもとに、2つの住宅団地の造成及び町営住宅建設に設計施工プロポーザルが実施されることになった。内1つの住宅団地は完成し16宅地の内14宅地は売却済み、もう一つは現在施工中、町営住宅は現在プロポーザル実施中で応募を待っている状況にある。

## 10 他団体へのアドバイス

- ・行政アドバイザーの仕組みを持ち、事業実施前に相談できるとよい。